

2019年度（令和元年度）～2025年度（令和7年度）の出題傾向

問題番号	2019年度（令和元年度）	2021年度（令和3年度）	2022年度（令和4年度）	2023年度（令和5年度）	2024年度（令和6年度）	2025年度（令和7年度）
67	クリノメーターの置き方（イラスト問題）	屈折法地震探査（弾性波探査）	クリノメーターの結果読み取り（イラスト問題）	露頭から断層が出現する可能性がある場所の推測（イラスト問題）	物理探査手法と適用対象	地すべりにおけるボーリング調査に関する留意点
68	1m深地温探査の特徴	微動アレイ探査	電気探査	岩石・土質の状態と比抵抗の関係	ボーリング調査による試料採取計画	地すべり調査においてすべり面を推定するための調査方法
69	海上ボーリング調査の安全に関する事項	設計・施工に関わる検討内容とそれに対する調査内容	各種調査法（物理探査）の特徴	パイプ歪計による地すべりの変動種別	孔内載荷試験から求められる変形係数（ヤング率）の適用と解釈	シールド工法における留意すべき地盤
70	各種調査法（現地踏査や物理探査等）の特徴	コアの観察結果とその解釈	トンネルの設計や施工に必要な検討内容と調査内容	ポアホールテレビから得られた画像から不連続面の走向と傾斜方向を推測（イラスト問題）	地質境界面の走向傾斜（イラスト問題）	熱水変質
71	地質調査の報告書の意義と作成上の心構え	岩盤ボーリングにおける作業時の行為	地質調査報告書をまとめる際の留意事項	沖積地盤における土木的な問題点	孔内水位における留意すべき事項	地質調査報告書をまとめる際の留意事項
72	ボーリング調査の品質が孔内計測や設計・施工に与える影響	観測井戸の仕上がり具合が観測・分析結果に与える影響	標準貫入試験で得られるN値について留意すべき事項	単孔を利用した透水試験で得られる透水係数を評価する際の留意点	岩盤ボーリングにおける作業内容	ボーリング掘削時に留意すべき事項（標準貫入試験で得られるN値に与える影響）
73	一次元圧密理論（テルツァーギの圧密理論）	圧密試験および圧密現象	液状化に関連する事項	土の透水性	土の粒度試験より得られる結果	圧密現象および圧密試験
74	土の粒度試験より得られる結果	サンプリング試料が乱れている場合の力学試験結果の傾向	岩石の圧裂引張り試験方法、岩石の一軸引張り試験方法	土の一軸圧縮試験、三軸圧縮試験から得られる結果	突固めによる土の締固め試験方法およびその適用	土の繰返し非排水三軸試験方法により得られる繰返し載荷回数 $N_c$
75	各試験（室内試験等）における報告事項	土の変形特性を求めるための繰返し三軸試験方法	モールの応力円（イラスト問題）	土粒子の密度 $\rho_s$ (Mg/m <sup>3</sup> )の値が必要になる試験項目	粒度試験結果と三角座標（イラスト問題）	土粒子の密度の値が必要になる室内試験および当該報告事項
76	孔中起振による走時曲線を選択する問題（イラスト問題）	弾性波動を利用する物理探査あるいは測定	速度構造による走時曲線（イラスト問題）	速度構造による走時曲線（イラスト問題）	速度構造による走時曲線（イラスト問題）	物理探査の適用を検討する際の留意点
77	屈折した波動を利用する物理探査、測定	孔内起振による走時曲線の補正量を選択する問題（イラスト問題）	河川堤防の維持管理に物理探査を適用する場合	弾性波動を利用する物理探査、測定	弾性波動を利用する物理探査、測定	進行中のトンネルで切羽前方の数 $\sim$ 100m程度までの地山状況を把握するための物理探査手法
78	河川堤防の物理探査を効率的に実施する手法	河川堤防の維持管理に物理探査を適用する場合	特定の環境条件下における空洞、地盤の緩み状況を確認するための物理探査手法	弾性波探査法の解析における基本事項（イラスト問題）	特定の環境条件下における空洞、地盤の緩み状況を確認するための物理探査手法	路面下浅部の埋設物や空洞の調査における代表的な物理探査手法

※2020年度（令和2年度）試験は中止